

平成 30 年度事業報告書

1 事業概要

1) 基本方針

公益財団法人那須塩原市農業公社は、栃木県那須塩原市において農地利用集積円滑化事業その他担い手の確保・育成等農業構造の改善に関する事業を行い、農業の生産及び販売基盤を強化し、農業の振興及び消費者への食の安定供給を図り、もって地域社会の健全な発展に寄与することを目的として次の事業を行った。

- (1) 農地利用集積円滑化事業
- (2) 農業者研修育成事業
- (3) 認定農業者育成事業
- (4) 農林業施設の管理運営事業
- (5) 都市農村交流促進事業
- (6) 農業情報の収集、分析及び提供事業
- (7) 地域農産物の研究開発及び商品化事業
- (8) チャレンジファーマー事業（無料職業紹介事業含む）
- (9) その他目的を達成するために必要な事業

2) 事業実績

(1) 農地利用集積円滑化事業【公1】

後継者不在により農業経営の維持が困難な高齢者の農家、規模縮小を図る兼業農家、離農する農家又は相続等により農地を所有する非農家から受ける農地の有効利用についての相談に応じる一方、農業経営の規模拡大に取り組もうとする認定農業者をはじめとする地域農業の担い手から受ける農地集積についての相談に対して、農地利用集積円滑化団体として賃貸借や売買といった農地の利用集積方法についてのアドバイスを行い、具体的な利用権設定及び所有権移転への方向へ導き、農地の面的集積及び流動化の推進に努めた。

また、昨年度に引き続き、公益財団法人栃木県農業振興公社に設置された農地中間管理機構が実施する農地の貸借事業について、地域の実情に精通している当公社が業務の一部を受託し、相談窓口の開設、機構集積協力金に絡む農地の貸付け、公募による農地の借受希望者の受付等の業務を行った。

加えて、農地中間管理事業の促進を目的に、推進員1名を継続して雇用し、事業内容や制度の活用を周知するほか、農地の出し手や借受希望者の積極的な掘起しを行った。

○合同受付・相談会開催日 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
利 用 権	黒 磯	4/6	—	6/1	—	—	—
	西那須野	4/4	—	6/8	—	—	—
	塩 原	4/5	—	6/6	—	—	—
所有権移転		—	5/24	6/14	7/18	8/8	9/11

		10月	11月	12月	31.1月	2月	3月	開催日数計
利 用 権	黒磯	10/22	11/5	12/12, 14	1/11, 15, 17	2/4, 8	3/18	12日
	西那須野	—	11/6, 12	12/5, 7	1/10	2/5	3/19	9日
	塩原	—	11/8	12/12	1/18	2/7	3/22	7日
所有権移転		10/12	11/13	12/13	1/16	2/13	3/8	11日

○平成30年度利用権設定等実績（平成31年3月31日現在）

期末貸借総ストック 【(A) - (B) + (C)】

	件数	面積(ha)	田(ha)	畑(ha)
H30 期末総ストック (比較%)	2,088(103.6)	1,911.8(104.2)	1,504.1(104.6)	407.7(102.7)
H29 期末総ストック	2,016	1,834.8	1,437.9	396.9

(A) 期首貸借総ストック

	件数	面積(ha)	田(ha)	畑(ha)
H30 期首総ストック (比較%)	2,016(104.1)	1,834.8(102.7)	1,437.9(103.7)	396.9(99.3)
H29 期首総ストック	1,936	1,785.7	1,386.0	399.7

(B) 当年度満了・解約実績

	件数	面積(ha)	田(ha)	畑(ha)
満了・解約(比較%)	334(102.5)	283.4(87.4)	219.8(93.5)	63.6(71.3)
前年度満了・解約	326	324.3	235.1	89.2

(C) 当年度内集積実績

	件数	面積(ha)	田(ha)	畑(ha)	
新規設定(比較%)	124(96.1)	131.4(127.4)	104.4(135.6)	27.0(103.4)	
再設定(比較%)	282(101.8)	229.0(84.7)	181.6(86.5)	47.4(78.6)	
計	406(100.0)	360.4(96.5)	286.0(99.7)	74.4(86.1)	
前年度	新規	129	103.1	77.0	26.1
	再設定	277	270.3	210.0	60.3
前年度計	406	373.4	287.0	86.1	

①農地所有者代理事業

農地の有効利用のために、高齢化や後継者不在により規模縮小する農家、離農する農家又は相続等により農地を所有する非農家から貸付先を特定しない旨の白紙委任を受け、委任契約を締結した。

これに合わせ、農地所有者を代理して公社がその委任内容の受け手として認定農業者を中心とする地域農業の担い手の選定を行い、農地の面的集積等について協議を重ねた上で賃貸借契約を締結した。

○当年度内集積実績

		件数	面積(ha)	田(ha)	畑(ha)
新規設定(比較%)		43(89.5)	39.5(93.6)	27.6(81.9)	11.9(136.8)
再設定(比較%)		152(88.4)	151.5(76.6)	121.2(81.8)	30.3(61.1)
計		195(88.6)	191.0(79.5)	148.8(81.8)	42.2(72.4)
前年度	新規	48	42.2	33.7	8.7
	再設定	172	197.8	148.2	49.6
前年度計		220	240.2	181.9	58.3

②農地売買等事業

農地の有効利用のために、高齢化や後継者不在により規模縮小する農家、離農する農家又は相続等により農地を所有する非農家の要請を受けて、農地の借受けに係る賃貸借契約を締結した。

これに合わせて、公社がその農地の新たな貸付先として認定農業者を中心とする地域農業の担い手の選定を行い、農地の面的集積等について協議を重ねた上で貸付けに係る賃貸借契約を締結した。

また、賃借料においては、借り手からの口座振替及び貸し手への口座振込に係る出納事務を年間を通じて適正に処理を行った。

○当年度内集積実績

		借入件数	貸付件数	面積(ha)	田(ha)	畑(ha)
新規設定(比較%)		32(94.1)	32(94.1)	49.5(125.6)	42.6(167.1)	6.9(49.6)
再設定(比較%)		65(132.7)	65(116.1)	77.5(106.9)	60.4(97.7)	17.1(159.8)
計		97(116.9)	97(107.8)	127.0(113.5)	103.0(118.0)	24.0(97.6)
前年度	新規	34	34	39.4	25.5	13.9
	再設定	49	56	72.5	61.8	10.7
前年度計		83	90	111.9	87.3	24.6

○当年度内取扱実績

	借り手振替件数	貸し手振込件数	賃借料
平成30年度(比較%)	324(112.5%)	328(111.6%)	48,345,649円(101.8%)
前年度	288	294	47,508,273円

③農地中間管理事業

地元の農業公社ということで市内の農地情報に精通していることから、県農業公社から農地中間管理機構を通じた農地の貸借事業の一部を受託し、高齢化や後継者不在により規模縮小する農家、離農する農家又は相続等により農地を所有する非農家からの農地の貸付けに関する相談等に応じ、農地中間管理機構を通じた農地の貸付けや機構集積協力金の活用について支援を行った。

これに合わせて、自身の農業経営の規模拡大を希望する認定農業者や新規就農者等からの農地の借受けに関する相談に応じ、農地中間管理機構が公募する農地の借受希望者の申請や、農地の出し手とのマッチング

等の支援を行った。

加えて、事業推進員が各農家、農業委員及び地区推進員を訪問し、事業の普及活動や地域の農地の異動状況等の情報収集を行ったほか、人・農地プランに基づいて農地の貸付希望者や借受希望者の積極的な掘起しを行った。

○当年度内集積実績

	借入件数	面積 (ha)	田(ha)	畑(ha)
平成30年度(比較%)	17(130.8)	42.4(199.1)	34.2(192.1)	8.2(234.3)
前年度	13	21.3	17.8	3.5

○借受希望者の公募状況

	市内農家数	市外農家数	計
平成30年度(比較%)	16(64.0)	1(20.0)	17(56.7)
前年度	25	5	30

○推進員活動状況

- ・実施期間 平成30年4月1日～平成31年3月31日
- ・推進員数 1名
- ・活動日数 延べ 108日(578時間)
- ・活動距離 延べ 4,566km
- ・訪問者数 次表のとおり

訪問先	訪問者数(回数)
農地の出し手(農地の貸付希望者等)	28名(118回)
地域の担い手(認定農業者等)	8名(37回)
その他(農業委員、地区推進員等)	33名(49回)

※訪問者数に対し訪問回数が多いのは、1名の所へ複数回訪問しているため。

④農地売買等事業(特例事業)

地元の農業公社ということで市内の農地情報に精通していることから、県農業公社から農地中間管理事業の特例事業として農用地のあっせんに係る事業の一部を受託し、高齢化や後継者不在により規模縮小する農家、離農する農家又は相続等により農地を所有している非農家からの農地売却に関する相談等に応じ、対象農地の現況確認や買受予定者との調整を行った。

これらの調整結果について、栃木県農業公社へ情報提供を行い、農地売却を希望する農家への支援を行った。また、規模拡大を目指す農業者の農地の買受けに関する相談等に応じ、適宜アドバイスや情報提供を行った。

○当年度内集積実績

	件数	面積 (ha)	田(ha)	畑(ha)
所有者から県公社へ売渡し(比較%)	12(120.0)	16.7(116.0)	8.6(268.8)	8.1(72.3)
前年度	10	14.4	3.2	11.2
県公社から担い手へ売渡し(比較%)	7(50.0)	8.2(42.7)	6.3(103.3)	1.9(14.5)
前年度	14	19.2	6.1	13.1

⑤機構集積協力金推進事業

農地中間管理機構を通じた農地の貸付けの相談時には、機構集積協力金の制度の説明を行うとともに、対象者の受給要件の確認や調査業務を適正に行い、協力金活用の推進を図った。

○機構集積協力金交付実績

	交付額 (対象戸数)	集積面積	交付単価
経営転換協力金	165,000円 (1戸)	0.3ha	1ha未満: 10a/50,000円
	500,000円 (1戸)	1.4ha	1ha~2ha/ 500,000円
	3,500,000円 (5戸)	14.0ha	2ha以上/ 700,000円
耕作者集積協力金	29,500円 (1戸)	0.59ha	10a/5,000円
計	4,194,500円 (8戸)	16.3ha	

(2) 農業者研修育成事業【公1】

農業・農村の活性化を図るために、地域の中心となる農業担い手の積極的な農業経営の参画や魅力ある農業経営の確立が重要視される中、これらの対応策として次の事業を行った。

①農業経営改善講演会の開催【公1】

経営管理能力の向上、農業農村の活性化及び農業の持続的発展を図ることを目的に、地域農業者に講演会、講習会、研修会等の積極的な案内により参加促進を図った。

また、担い手の高齢化や後継者不足、農産物価格の低迷等、国内農業が直面する様々な課題を解決するための一助として、本市の農業者が最新の情報を取得し経営管理能力向上を図るべく、有識者を招いて農業経営改善講演会を開催した。

開催日	内 容	人数
1月21日(月)	農業経営改善講演会(会場:いきいきふれあいセンター) 「農政改革と水田農業再編の課題」 講師 宇都宮大学農学部 秋山 満 教授	73名

②農業者海外研修派遣事業【公1】

次の時代を担う青年農業者を海外に派遣し、海外先進農業事情等について調査研究を行うことにより、今後見込まれる農産物等の貿易自由化に向けた生産性の効率化や農業の大規模化等、国際化の進展に対応できる優れた担い手を育成するための海外派遣研修事業を実施した。

今年度は、公益社団法人国際農業者交流協会主催の長期研修に2名の派遣を決定し、2週間の事前研修、

副市長への表敬訪問、アメリカ大使館面接等を経て、研修先のアメリカ合衆国へ向けて3月29日に出国した。研修期間は約1年6ヶ月におよび、酪農を中心とした大規模農業経営と最新技術のほか研修先の文化や風習、語学なども学ぶ予定である。

研修生名 ①薄井 大貴（那須塩原市関谷 1533／酪農）

②足立 真一（那須塩原市関谷 1471／酪農）

③農村生活研究グループ協議会活動支援事業【公1】

市内の女性農業士や女性認定農業者等で構成する農村生活研究グループ協議会の事務局として、協議会活動の支援を行った。

農村生活研究グループ協議会は会員相互の連絡協調を密にし、農家生活・農業経営・男女共同参画・地域社会の課題解決に向けた取組みを推進し、農村女性の社会的、経済的地位の向上を図ることを目的に活動した。

会員の親睦を図るため1月末に益子町への研修旅行を開催した。

また、今年度は「ナス、アスパラ、かぼちゃ」等の地元食材を研究対象とした地産地消レシピ集を500部作成し、会員、関係各所へ配布した。

平成30年度の会員数は26名であった。公社の広報に会員募集案内を掲載したところ、3名から次年度から加入したい旨、連絡があった。

○農村生活研究グループ協議会活動内容

(1) 会議関係：4件 参加人数延べ 44名

開催日	事業名	内 容	人数
6月6日(水)	会員全員検討会	平成30年度活動計画について	15名
9月19日(水)	第1回役員会	お料理講座について 産業文化祭 おに・バター作り講座について 視察研修について	3名
2月27日(水)	第2回役員会	定期総会について H31年度事業計画について H30年度会計監査について	5名
3月11日(月)	平成30年度定期総会	平成30年度事業報告・決算承認 平成31年度事業計画・予算(案)について	21名

(2) 事業関係：17事業 参加人数のべ 146名

開催日	事業名	内 容	人数
4月17日(火)	地産地消メニュー料理講習会	南公民館で活動しているお料理サークル「なかま」に地産地消メニューの講習会を行った。(会員9名)	2名
5月30日(水)	出張食育講座 おに・バター作り体験	関谷小4年生親子におにぎりの握り方、バター作り、食育講話等を行った。(40名)	6名

開催日	事業名	内 容	人数
6月6日(水)	那須塩原の食材を使った料理持ち寄り品評会	会員が作った那須塩原の野菜・乳製品を使った料理の研究、品評	15名
6月13日(水)	出張食育講座 おにぎり作り体験	槻沢小4年生親子におにぎりの握り方、食育講話等を行った。(70名)	8名
6月27日(水)	出張食育講座 おにぎり作り体験	三島小4年生親子におにぎりの握り方、食育講話等を行った。(244名)	6名
6月28日(木)	出張食育講座 おに・バター作り体験	塩原小4年生におにぎりの握り方・バター作り、食育講話等を行った。(10名)	5名
7月20日(金)	料理講座「地産地消メニュー」	地域特産野菜を使った料理「なすのフライ」「夏野菜のクレープ包み」「ミルクそうめん」「かぼちゃプリン」「かぼちゃかりんとう」「かぼちゃのマッシュサラダ」を調理、試食交流	13名
8月18日(土)	三島公民館親子クッキング講座	三島公民館家庭教育学級参加者6組14名への料理指導、食育講話、地域特産野菜を使った料理「夏野菜のクレープ包み」「ミルクそうめん」「かぼちゃプリン」を作成	5名
9月26日(水)	石田坂自治公民館 生きがいサロン クッキング講座	生きがいサロンの参加者と「飾り寿司(四海巻)(バラ寿司)」「ねぎ玉汁」を調理、試食交流(13名参加)	3名
10月13日(土)	産業文化祭 事前準備	産業文化祭で販売する商品の準備 里芋堀り、材料刻み等	13名
10月14日(日)	産業文化祭	「いも汁」「豆おこわ」「栗おこわ」「ジュース」の販売 各300食	12名
10月31日(水)	出張食育講座 おに・バター作り体験	高林小4年生親子におにぎりの握り方、バター作り、食育講話等を行った。(22名)	6名
11月28日(水)	レシピ研究会	那須地区活動交換会で作成するレシピの研究「豆おこわ」「ねぎ玉汁」を調理、試食	5名
1月30日(水)	研修旅行	栃木県益子町方面 「益子観光いちご団地」「道の駅 ましこ」 「益子陶芸美術館」「益子窯元共販センター」	18名
2月6日(水)	出張食育講座 おに・バター作り体験	波立小4年生親子におにぎりの握り方、バター作り、食育講話等を行った。(12名)	4名
2月13日(水)	地産地消メニュー クッキング講座	関谷小学校家庭教育学級から依頼され、地産地消メニューの講習会を行った。(15名)	4名
3月11日(月)	研修講座	祝！日本遺産認定「明治貴族が描いた未来～那須野ヶ原開拓浪漫譚～」講座。講師：生涯学習課 乙川 尚太 氏	21名

(3) 那須地区農村生活研究グループ協議会関係

①那須地区会議関係：5件 参加人数延べ 18名

開催日	事業名	内 容	人数
4月9日(月)	那須地区農村生活研究グループ協議会 第1回役員会	平成30年度活動計画について 他	3名

開催日	事業名	内 容	人数
7月11日(水)	那須地区農村生活研究グループ協議会 第2回役員会	食と農の交流会について 活動交流交換会について	3名
10月10日(水)	那須地区農村生活研究グループ協議会 第3回役員会	活動交換会等についての協議 定期総会・研修会について	3名
1月18日(金)	那須地区農村生活研究グループ協議会 第4回役員会	定期総会について 研修会について	2名
3月6日(水)	平成30年度那須地区農村生活研究グループ協議会定期総会	平成30年度事業報告・決算承認 平成31年度事業計画・予算(案) 役員承認について	7名

②那須地区事業関係：3事業 参加人数延べ 25名

開催日	事業名	内 容	人数
9月5日(水)	那須地方食と農の交流会	那須地区の彩り野菜などを使った地産地消メニュー等アイデア料理の調理実習、試食交流(40名参加)	11名
12月6日(木)	那須地区農村生活研究グループ活動交換会	代表者による市の活動報告：「食育活動について」 昼食調理、流会 「豆おこわ」「チーズバンバーグ」等の調理、 試食、交流会(33名)	7名
3月6日(水)	農村生活研究グループリーダー研修会	農業における知的財産権について 講師：益子 勇氏	7名

(4) 県農業生活研究グループ協議会関係：3件 参加人数延べ18名

開催日	事業名	内 容	人数
8月30日(木)	栃木県農村生活研究グループリーダー養成研修会	「福島 ^{ふくこう} の福幸のために！諦めない心で立ち上がる女性の力」 講師：渡邊とみ子氏 「グループ別意見交換」 ・とちぎ女性農業者活躍応援プログラムを受講して	2名
2月5日(火)	アグリライフフォーラム2019	各地区グループ活動紹介 全国大会参加報告 講演会「和食の魅力を再確認！」 講師：山田 百香里氏	15名
3月19日(火)	栃木県農村生活研究グループ協議会定期総会	平成30年度事業報告・決算承認 平成31年度事業計画・予算(案)	1名

(5) 関係機関団体との連携：7件 参加人数延べ18名

開催日	事業名	内 容	人数
6月7日(木)	那須地方農村女性会議 第17回定期総会	平成29年度事業報告 収支決算承認 平成30年度事業計画 収支予算について 他	3名
6月7日(木)	農業・農村男女共同参画 推進研修会	講演会：栃木県の農村女性活躍の現状と課題 県農 業者懇談会農村グループアドバイザー 関亦初枝 氏	3名
8月22日(水)	農業・農村におけるワ ークライフバランス推 進研修会	「私の考える今までとこれからのワークライフ バランス」 講師：永山優子氏(なすとらん倶楽部運営組合長)	7名
11月19日(月)	那須地方農政講演会	「独自の農福連携によるネギ生産戦略」講師：ア ルフアイノベーション(株)代表取締役 山田浩太 氏	1名
1月8日(火)	那須塩原市食育・地産地 消推進計画策定委員会	食育・地産地消推進計画策定委員の委嘱 那須塩原市食育・地産地消計画について	1名
2月4日(月)	栃木県元気な農業コン クールいきいき農村部 門表彰式	元気な農業コンクールにて優良賞(農政部長賞)を 受賞	1名
2月15日(金)	農村女性トップリーダ ー懇談会	「農業の働き方改革について」講師：農林水産省経 営局 就農・女性課 経営専門官 佐藤大輔氏 パネルディスカッション「男女共同参画と働き方改 革について～農業と他産業の現場から～」	2名

(3) 認定農業者育成事業【公1】

経営感覚に優れ、効率的かつ安定的農業経営を目指す中核的農業経営体を育成するため、農業関係機関と連携を密にしなが、認定農業者の経営改善相談等、育成・支援と合わせて、新規に認定農業者の資格取得を希望する農業者に対して、経営改善計画作成の支援を実施した。

加えて、認定農業者への各種情報の周知手段として、認定農業者の資格を有する者で認定農業者の会を組織し、会が中心となって講演会、講習会、研修会等を開催し、認定農業者の資質の向上に努めた。なお、会の事務局を公社が担うことで会の活動全般について支援を行った。

①農業経営改善計画書の作成支援及び審査【公1】

認定農業者の認定期間満了に伴う再認定を希望する農業者や新規認定を希望する農業者に対して、農業経営改善計画書の作成指導会を適宜開催し、認定農業者の確保及び新規認定農業者の発掘を図った。

提出のあった農業経営改善計画書については、関係機関で組織する審査会において計画書の内容について審議し、審議の結果認定相当となったものについては、那須塩原市長へ進達を行った。

加えて、経営改善計画の後押しを目的に平成25年に国が策定した新たな経営指標について、認定日から3年目及び5年目を迎えた認定農業者に、経営改善計画書の更新時に取組状況の確認を行い、今後の農業経営改善計画に指標を十分に活用する旨、周知を図った。

○認定農業者数の推移

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
認定農業者数	634	635	633	635	633	633
当月認定者数	6	7	3	10	1	0
	10月	11月	12月	31.1月	2月	3月
認定農業者数	635	633	635	633	627	629
当月認定者数	6	5	4	6	19	25

○認定農業者数（地区別）

(平成31年3月31日現在)

	黒磯	西那須野	塩原	合計
31年3月末（比較%）	386(99.0)	138(98.6)	105(97.2)	629(98.6)
30年度内認定（新規）	56(17)	27(8)	9(2)	92(27)
30年3月末認定農業者数	390	140	108	638

○新たな経営指標への取組状況

認定3年目（平成27年度認定） 175名（集合指導会を延べ20日開催）

認定5年目（平成24年度認定） 92名（再認定の更新時に確認）

○集合指導会開催日

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
黒磯	4/6	—	6/1, 4	7/2, 6, 11	8/1, 6, 8	9/5, 6	
西那須野	4/4	—	6/8	7/9	8/3	9/4	
塩原	4/5	—	6/6	7/4	8/10	—	
審査会	—	5/1, 31	—	7/4	—	—	
	10月	11月	12月	31.1月	2月	3月	計
黒磯	—	11/2, 9	12/10, 14	1/11, 15, 17	2/4, 8	3/18	21回
西那須野	—	11/6	12/5, 7	1/10	2/5	3/19	11回
塩原	—	11/8	—	1/18	2/7	3/22	8回
審査会	10/1	11/5, 29	—	1/16	—	3/1	8回

②認定農業者の育成・支援及び認定農業者の会の運営【公1】

認定農業者に有利となる各種施策や制度、農地情報等について逐次情報提供を行った。

また、認定農業者の資質向上や各種情報の周知手段を目的として組織する認定農業者の会の事務局を公社が担った。なお、適宜役員会と班長会議を開催し、新たな事業の実施検討及び意見交換を中心に会の円滑な運営に努めた。

全体事業としては、会員の資質向上を目的とした活動として、山形県で開催された第19回全国農業担い手サミットへの参加のほか、姉妹都市である富山県滑川市及び茨城県ひたちなか市を訪問し、地元認定農業者との意見交換、視察研修等を実施した。

また、地域事業としては、農業への理解及び地域貢献を目的とした活動として、各種イベントにおいて認定農業者が生産した農産物のPR事業や、小学生の親子を対象とした農業収穫体験事業等、各地区の特色を生かした事業を開催した。

そのほか、当社が開催する農業経営改善に関する講演会や講習会、県北3市町の認定農業者の会で組織する那須地区認定農業者協議会主催の事業にも積極的に参加した。

○事業実施内容一覧：31 事業 参加人数延べ 343 名

(1) 那須塩原市認定農業者の会

①会議関係：12 件 参加人数延べ 189 名

開催日	実施内容	人数
4月16日(月)	第1回役員会 ※年間活動計画について他	12名
4月24日(火)	第1回班長会議(箒根地区) ※年間活動計画、地区事業について他	11名
6月12日(火)	第1回班長会議(塩原地区) ※年間活動計画、地区事業について他	3名
6月13日(水)	第1回班長会議(鍋掛地区) ※年間活動計画、地区事業について他	9名
6月15日(金)	第1回班長会議(西那須野・狩野地区) ※年間活動計画、地区事業について他	10名
6月18日(月)	第1回班長会議(黒磯地区) ※年間活動計画、地区事業について他	11名
6月19日(火)	第1回班長会議(東那須野地区) ※年間活動計画、地区事業について他	11名
6月20日(水)	第1回班長会議(高林地区) ※年間活動計画、地区事業について他	13名
7月17日(火)	第2回役員会 ※姉妹都市交流会について他	10名
9月11日(火)	第2回班長会議(西那須野・狩野地区) ※地区事業について他	3名
3月12日(火)	第3回役員会、平成30年度会計監査 ※定期総会について	14名
3月25日(月)	平成30年度定期総会 農業経営改善研修会(営農管理システムZ-GISについて)	82名

②事業関係：12 件 参加人数延べ 124 名

開催日	実施内容	人数
5月19日(土)	箒根地区事業(農業体験) ※市内小学生の親子を対象とした田植え体験	10名
8月7日(火) ～8日(水)	全体研修会 ※滑川市認定農業者協議会との意見交換会、視察研修他	20名
9月8日(土)	黒磯地区事業(農業体験) ※市内小学生の親子を対象とした枝豆収穫体験	9名
10月6日(土)	箒根地区事業(農業体験) ※市内小学生の親子を対象とした稲刈り体験	8名
10月14日(日)	西那須野・狩野地区事業 ※畜産フェアで新米つかみどり、牛乳試飲	5名
10月27日(土)	東那須野地区事業 ※巻狩りまつり出陣式で新米つかみどり、おにぎり試食	9名
10月27日(土)	鍋掛地区事業(農業体験) ※市内小学生の親子を対象としたさつまいも収穫体験	5名
11月6日(火)	東那須野地区事業 ※高齢者配食サービス事業への新米提供	2名
11月8日(木) ～9日(金)	全国農業担い手サミット in やまがた ※参加者との交流会、庄内地方の米加工会社、企業養豚の視察研修他	10名
11月11日(日)	高林地区事業 ※道の駅明治の森黒磯秋の収穫祭でバター作り体験、牛乳試飲	12名
2月9日(土)	鍋掛地区事業(農業体験) ※市内小学生の親子を対象とした干しいも加工体験	9名
2月28日(木)	全体研修会 ※水戸偕楽園、ひたちなか市認定農業者の会飛田会長訪問、意見交換他	25名

(2) 那須地区会議、事業関係： 7件 参加人数延べ 30名

開催日	実施内容	人数
4月24日(火)	那須地区認定農業者協議会第1回役員会 ※年間活動計画について他	5名
6月29日(金)	農業経営セミナー(基礎編) ※栃木県担い手育成総合支援協議会	1名
7月13日(金)	那須地区認定農業者協議会視察研修会 ※福島県猪苗代町、鳥獣被害防止対策他	6名
11月14日(水)	平成30年度栃木県農業担い手躍進大会 ※戸田の池田伝氏が優良賞を受賞	7名
1月29日(火)	那須地区認定農業者協議会第3回役員会 ※定期総会について	5名
3月7日(木)	那須地区認定農業者協議会視察研修会 ※平成30年度日本農林漁業トップリーダー発表会	2名
3月26日(火)	平成30年度那須地区認定農業者協議会定期総会 農業経営改善セミナー(10月からの消費税増税対策について)	4名

③青年等就農計画認定審査及び青年就農給付金承認審査【公1】

農業者の高齢化に伴い新たな担い手の確保が急務となる中、農業経営に意欲的に取り組む農業後継者や青年等就農者の確実な定着と育成を目的とした取組を行った。

具体的には、非農家の就農希望者や農家子弟の新規就農者からの相談に対し、新規就農者向けの様々な制度(認定新規就農者の資格取得、農業次世代人材投資資金)の紹介をはじめ、その活用方法について指導を行い新たな担い手の発掘と確保に努めた。また、各種新規就農相談会への参加を通じて、新規就農希望者の情報収集に努めた。

その他農業次世代人材投資事業(経営開始型)を活用する認定新規就農者の支援活動として、サポートチームによる面談を行ったほか、平成31年度から導入される中間評価の施行実施として、認定新規就農者と農業経営改善計画審査会の審査員を交えた中間評価会を開催した。

○就農計画・給付金認定実績

青年等就農計画認定者数	2名
青年就農給付金認定者数	2名 ※経営開始型
認定審査会開催数	2回(10/1、1/16)
新規就農相談者数	23名
認定新規就農者数	16経営体(H31.3.31現在)

○新規就農相談会

開催日	実施内容
5月27日(日)	新規就農相談会 in とちぎ 2018 (とちぎアグリプラザ)
7月28日(土)	新農業人フェア(東京国際フォーラム)
8月29日(水)	新規フォーラム in とちぎ 2018 (とちぎアグリプラザ)

○サポートチーム活動

平成29年度以降の農業次世代人材投資事業(経営開始型)採択者5名を対象に実施。
6/7、6/11、6/28、12/18、12/27の5日間

○中間評価会(試行実施)

平成28年度の農業次世代人材投資事業(経営開始型)採択者5名を対象に3/1に開催。

(4) 農林業施設の管理運営事業【公2】

①青木ふるさと物産センター管理運営事業【公2】

青木ふるさと物産センターの指定管理者として、本市の農産物加工・流通及び情報発信の拠点となる道の駅「明治の森・黒磯」の受託管理運営等を適切に行い、施設の機能を有効に活用しながら、地域農産物等の流通を促進した。

また、感謝祭や収穫祭といったイベントを実施し、農産物の消費拡大や安全・安心のPR等を行うとともに、道の駅「明治の森・黒磯」へのさらなる集客に努めた。

○平成30年度「明治の森・黒磯」利用状況 ※利用者数は、道の駅が推定、青木邸が実数である。

月	道の駅利用者数	利用者前年比	売上高計	売上高前年比	青木邸有料入館者数	入館者前年比
4月	47,230名	116.9%	16,238,329円	120.4%	928名	144.5%
5月	58,565名	106.4%	20,223,828円	103.4%	1,544名	115.1%
6月	53,760名	102.5%	15,986,338円	101.9%	932名	107.6%
7月	63,345名	106.6%	20,604,687円	115.8%	1,422名	111.9%
8月	82,580名	114.2%	30,468,531円	118.2%	2,455名	116.1%
9月	67,150名	106.0%	20,952,896円	105.4%	1,731名	160.3%
10月	69,220名	116.5%	21,219,486円	116.1%	1,902名	168.6%
11月	51,330名	105.5%	15,969,997円	105.3%	1,012名	106.3%
12月	38,880名	106.6%	12,300,347円	103.7%	390名	141.8%
1月	30,440名	122.5%	9,261,417円	118.9%	376名	205.5%
2月	31,905名	111.4%	10,233,167円	111.9%	457名	219.7%
3月	44,465名	110.8%	14,955,709円	110.4%	949名	173.2%
計	638,870名	109.9%	208,414,732円	110.9%	14,098名	132.9%

○イベント内容：13事業 推定来客数 48,340名

開催日	イベント名	内 容	来客数
4月15日(日)	春の感謝祭	割引販売 牛乳、産直鍋の無料配布 抽選会、堆肥の無料配付	2,900名
7月8日(日)	那須高原ロングライド エイドステーション	スポーツドリンク、水、お菓子、牛乳、ミニトマトの配布	—
8月5日(日)	夏の感謝祭	牛乳、堆肥の無料配布、オカリナコンサート、 農産物・ジェラートの値引き販売	3,770名
8月18日(土)	マロニエプラザ感謝祭	牛乳無料配布、パンの試食・販売、農産物の販売 ※マロニエプラザで開催	10,000名
8月31日(金)	野菜の日イベント	農産物の割引販売、ボックスティッシュ配布、牛乳の無料配布	2,590名

開催日	イベント名	内 容	来客数
9月22日(土) ～23日(日)	20周年記念感謝祭	記念式典、農産物割引販売、抽選会、牛乳、ポップコーン無料配布	7,790名
10月27日(土) ～28日(日)	滑川高等学校商業科販売実習への協力	特産品の卸販売	—
11月11日(日)	秋の収穫祭	割引販売、堆肥の無料配布、産直鍋の無料配布、抽選会	3,750名
12月23日(日・祝)	クリスマスイベント	卵のつかみ取り、ホットミルク・ポップコーンの無料配布、野菜の詰め放題	2,030名
1月4日(金)	初売りイベント	抽選会、おしるこの配布、福袋販売 野菜の詰め放題	1,735名
2月10日(日)	バレンタインイベント	チョコのすくい取り、野菜の詰め放題、 チョコイチゴ、ポップコーンの配布	1,505名
3月2日(土)	とちぎ道の駅フェスタ 2019	牛乳無料配布、パンの試食・販売、特産品の販売 ※道の駅しもつけで開催	10,000名
3月3日(日)	ひなまつりイベント	甘酒の無料配布、ひし餅が当たる抽選会、野菜の詰め放題、牛乳の飲み比べ、ポップコーンの配布	2,270名

※来客数については、推定である。

②青木ふるさと物産センターにおける収益事業【収1】

物産センター内の販売コーナーにおいて、市の特産品である牛乳、イチゴなどの仕入販売を行い、本市のPRや情報発信を行った。また、冬場の地場野菜不足解消のため商品の仕入販売、こいのぼり・クリスマスツリー・つるし雛等、季節の飾りつけをし、利用者の確保に努めた。また、ホームページやワイファイ機能を活用し、現在の旬な商品の情報や那須塩原ブランド商品を紹介し、販売促進につなげた。

③道の駅「明治の森・黒磯」維持管理業務【収1】

市からの委託を受け、トイレ、駐車場など道の駅全体の良好な維持管理に努めた。また、ハンナガーデンに季節の花を植栽し、来訪者へやすらぎの場を提供した。

④とちぎ明治の森記念館維持管理業務【収1】

市からの委託を受け、国の重要文化財に指定されている旧青木家那須別邸の適切な管理を行った。また、文化財防火デーに合わせ、那須地区消防組合と合同での消防訓練も実施し、利用者が安心して施設を利用できるよう努めた。

(5) 都市農村交流促進事業【公1】

①ふれあい農園管理

都市住民の野菜等の栽培を通じて自然と触れ合いたいというニーズに応え、市内の遊休農地等の未利用農地を有効活用し、市民を対象としたふれあい農園を開設し、管理業務を行った。

利用者は、自然との触れ合いを通じて農業への理解を深め、農地所有者においても農作物の作付けや農作業の相談を受けるなど、お互いに交流を図ることで都市と農村との相互理解を深めている。

管理面においては、農園の利用状況について適宜現地確認を行い、不良箇所の整備、利用者からの苦情等への対応を行った。加えてホームページで農園情報を公開し、利用率の向上に努めた。

また、農園利用者向けに専門家を招いた野菜栽培の講習会を実施し、利用者の栽培技術向上と利用促進を図った。

○ふれあい農園利用状況

(平成31年3月31日現在)

	黒 磯	西那須野	塩 原	合 計
農 園 箇 所	6	6	2	14
区 画 数	103	179	33	315
利用区画数(比較%)	94(104.4)	170(95.0)	28(100.0)	292(98.3)
前年度利用区画数	90	179	28	297

○ふれあい農園出前講座：6事業 参加人数計46名

開催日	会場	内 容	参加人数
6月10日(日)	若葉町農園	夏撒き野菜の定植等	7名
6月16日(土)	西三島農園	夏撒き野菜の定植等	5名
6月23日(土)	二区町農園	夏撒き野菜の定植等	7名
8月18日(土)	若葉町農園	秋撒き野菜の定植等	10名
8月25日(土)	西三島農園	秋撒き野菜の定植等	8名
8月26日(日)	二区町農園	秋撒き野菜の定植等	9名

※講師：三森 一美氏(チャレンジファーマー講師)

②農業体験交流

農村資源の有効活用と農村地域の活性化を目的に、道の駅「明治の森・黒磯」を発着とするウォーキングイベントを実施した。

また、地元の小学生に収穫の喜びを学んでもらうための収穫体験を実施したほか、認定農業者の会との連携による、市内小学生の親子を対象とした収穫体験を行った。

○農業交流体験内容：8事業 参加人数 328名

開催日	事 業 名	内 容 (場所等)	人数
5月19日(土)	親子で集まれ田植え体験会	市内の小学生親子を対象とした田植え体験(関谷地内圃場)	14組 21名
6月28日(木)	青木小学校収穫体験	青木小学校3年生による菌床キノコの施設見学、収穫体験	21名
9月8日(土)	親子で集まれ枝豆の収穫体験	市内の小学生親子を対象とした枝豆の収穫体験(小結地内圃場)	6組 16名
10月6日(土)	親子で集まれ稲刈り体験	市内の小学生親子を対象とした稲刈り体験(関谷地内圃場)	12組 38名
10月21日(日)	田園ウォーキング	道の駅「明治の森・黒磯」を発着とするウォーキング(5kmと8kmの2コース)	134名

開催日	事業名	内容(場所等)	人数
10月25日(水)	青木小学校芋ほり体験	青木小学校2年生によるさつまいもの収穫体験	17名
10月27日(土)	親子で集まれさつまいもの収穫体験	市内の小学生親子を対象としたさつまいもの収穫体験(寺子地内圃場)	11組 37名
2月9日(土)	親子で集まれほしいも加工体験	市内の小学生親子を対象とした干し芋加工体験(寺子地内圃場)	15組 44名

(6) 農業情報の収集、分析、提供事業【公1】

新聞やインターネット等、様々な媒体を通じてより広く農業関連の情報の収集、分析及び提供を行い、農業経営の改善を促進した。

また、栃木県、那須塩原市、農業関係機関・団体との連携を密に行い、農用地や農業全般の情報、講演会、研修会の開催情報等を市の広報、チラシ等の配布を通じて広く発信した。

加えて、昨今の情報化社会に対応すべく、公社独自のホームページにより広く情報発信するとともに、農地の賃貸借や認定農業者の申請に係る様式等もホームページから取得できるよう整備し、利用者の利便性を図った。

農業公社の事業内容を市民に周知するため「農業公社だより」を2回発行した。

(7) 地域農産物の研究開発及び商品化に関する事業【公1】

地域の資源を活用した特産品を開発するための調査研究を行い、農産物の付加価値を高め、農家所得の向上と農村の活性化を図るため次の事業を行った。

①地元農産物を使用した特産品の試作、研究開発

市内在住の室井秀貴氏から、ブルーベリーを基軸にしたいベリー類の商品化に関する事業の申請書が提出され、事業終了後に助成金の交付を行った。

事業名	ブルーベリーを基軸にしたベリー類の商品化事業
団体名	室井秀貴
事業内容	桑(マルベリー)を使用した新商品の開発や既存商品のパッケージの刷新。また、耕作放棄地等を果樹園として再生し、新しい農業のビジネスモデルを目指す。
実施期間	平成30年8月～平成31年3月
実施内容	桑(マルベリー)を使用したサプリメントの開発、ワインボトルのパッケージデザインの刷新により新規顧客の取り込みが図れた。また、荒れた農地を耕し、ベリー類の苗も植樹した。

②地元農産物及び加工品を活用したギフト作り

地元農産物及び農産物加工品を活用したギフト作りとして、道の駅「明治の森・黒磯」のお中元とお歳暮セットの開発・研究を行った。

○販売実績

	ギフト名	販売実績	備考
お中元セット (6 商品)	野州支那そば・野州タンメンセット	2 個	星野製麺 (市ブランド)
	季節の野菜詰め合わせセット	9 個	青木産直会野菜
	手作りクッキー詰め合わせセット	—	心の里
	まきばセット I	—	ハーレー牧場 (市ブランド)
	まきばセット II	2 個	
お歳暮セット (11 商品)	野州支那そば・野州タンメンセット	3 個	星野製麺 (市ブランド)
	青木クッキー詰め合わせ	9 個	
	手作りクッキー詰め合わせセット	—	心の里
	まきばセット I	—	ハーレー牧場 (市ブランド)
	まきばセット II	2 個	
	季節の野菜詰め合わせセット	—	青木産直会野菜
	とろろ雑煮セット	2 個	市内精肉店等とのコラボ
	青木ふるさとトマト鍋セット	13 個	〃
	野菜たっぷりタンメンセット	8 個	〃
	赤川農園のレンコン	2 個	青木産直会
	自然薯	5 個	〃
計		57 個	

③市ふるさと納税のお礼品の販売

ふるさと納税のお礼品として、道の駅「明治の森・黒磯」季節の野菜詰め合わせセットや果物等の販売を行った。

○販売実績

ギフト名	販売実績
季節の野菜詰め合わせセット	89 個
リンゴの箱詰め	12 個
梨の箱詰め	7 個
計	108 個

(8) チャレンジファーマー事業【公1】

①チャレンジファーマー養成支援塾

農業に関心があり、労働意欲が旺盛な市民を対象に、農業ヘルパーとして農家が求める労働者を養成するため、併せて、新規就農や農業生産法人への就職を希望する方など農業にかかわって行きたい方の農業を学ぶ場としてチャレンジファーマー養成支援塾を行っている。塾生は、机上研修において農業全般に関する基礎知識を学び、実地研修において圃場で農業機械の操作や園芸作物の栽培を行い農業者としての知識と技術の習得に努めた。また、具体的な作業を経験するため、栽培農家での実地研修も行った。

本年初めての試みとして、圃場研修で収穫した野菜を市内子ども食堂へ寄付した。

実施期間	平成30年4月15日～平成30年12月2日
受講者数	23名（男性19名 女性4名）
研修場所	栃木県農業試験場黒磯農場
実施回数	20回（机上研修・圃場研修・実地研修）
講師数	4名
栽培作物	トマト、きゅうり、なす、ねぎ、にんじん、大根、白菜、セロリ、レタス
実地研修	5/27 遅澤氏（西遅沢）圃場 唐辛子の定植、ナスの誘引、芽かき 19名参加
	9/1 小山氏（中塩原）圃場 大根の間引き・収穫・洗浄 13名参加
	10/14 益子氏（鍋掛）圃場 ほうれん草の播種 19名参加
収穫祭	11/4 鳥野目オートキャンプ場にて、研修圃場で栽培した野菜を使用し、交流会を行った。

②チャレンジファーマーの活用

チャレンジファーマー養成支援塾を受講した第1期生から第8期生までの人材登録者と、チャレンジファーマー活用申請のあった農家とのマッチングを無料職業紹介所として行った。

(平成30年度)

チャレンジファーマー養成支援塾修了生	194名	男性161名 女性33名
チャレンジファーマー人材登録数	140名	男性122名 女性18名
チャレンジファーマー活用登録件数	5件	
マッチング件数	3件	
マッチング人数	10名	男性10名
継続勤務	10名	

(9) その他目的を達成するために必要な事業

適切な管理・運営の実施

- I 公益目的事業の適切な実施のため、公益財団法人那須塩原市農業公社定款・規程・規則・要綱等に沿った適正な事務及び経理の処理に努めた。
- II 貸借対照表その他計算書類等の事務所への備付け・一般への供覧により情報開示の適正性を高めるよう努めた。
- III その他公益財団法人としての適正な事業運営の推進に努めた。

〈法人管理〉

2 評議員会に関する事項

区 分	開催年月日・場所	付 議（決 議）事 項	
1 回	平成 30 年 5 月 28 日 那須塩原市役所 303 会議室	議案第 1 号	公益財団法人那須塩原市農業公社役員の選任について
		議案第 2 号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成 29 年度事業の報告について
		議案第 3 号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成 29 年度決算の承認について
2 回	平成 30 年 8 月 22 日 (決議の省略による)	議案第 1 号	公益財団法人那須塩原市農業公社評議員の選任について
		議案第 2 号	公益財団法人那須塩原市農業公社役員の選任について
		議案第 3 号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成 30 年度第 1 回補正予算の承認について
3 回	平成 30 年 11 月 20 日 (決議の省略による)	議案第 1 号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成 30 年度第 2 回補正予算の承認について
4 回	平成 31 年 3 月 18 日 那須塩原市役所 303 会議室	議案第 1 号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成 30 年度第 3 回補正予算の承認について
		議案第 2 号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成 31 年度事業計画書及び収支予算書等の承認について

3 理事会に関する事項

区 分	開催年月日・場所	付 議（決 議）事 項	
1 回	平成 30 年 5 月 11 日 那須塩原市役所 901 会議室	報告第 1 号	代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況報告について
		議案第 1 号	公益財団法人那須塩原市農業公社役員候補者の推薦について
		議案第 2 号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成 29 年度事業報告について
		議案第 3 号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成 29 年度決算について
		議案第 4 号	定期提出書類（事業報告等）について
		議案第 5 号	字句修正に係る委任決議について
2 回	平成 30 年 5 月 28 日 (決議の省略による)	議案第 6 号	公益財団法人那須塩原市農業公社定時評議員会（第 22 回評議員会）の開催について
		議案第 1 号	公益財団法人那須塩原市農業公社代表理事（理事長）の選定について
		議案第 2 号	公益財団法人那須塩原市農業公社業務執行理事（常務理事）の選定について

区 分	開催年月日・場所	付 議（ 決 議 ） 事 項	
3回	平成30年8月22日 那須塩原市役所 901会議室	報告第1号	代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況報告について
		議案第1号	公益財団法人那須塩原市農業公社役員候補者の推薦について
		議案第2号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成30年度第1回補正予算について
		議案第3号	公益財団法人那須塩原市農業公社第23回評議員会の開催について
4回	平成30年11月19日 那須塩原市役所 901会議室	報告第1号	代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況報告について
		議案第1号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成30年度第2回補正予算について
		議案第2号	公益財団法人那須塩原市農業公社第24回評議員会の開催について
5回	平成31年2月21日 那須塩原市役所 101会議室	報告第1号	代表理事及び業務執行理事の職務の執行状況報告について
		議案第1号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成30年度第3回補正予算について
		議案第2号	公益財団法人那須塩原市農業公社平成31年度事業計画書及び収支予算書等について
		議案第3号	定期提出書類（事業計画書等）について
		議案第4号	字句修正に係る委任決議について
		議案第5号	公益財団法人那須塩原市農業公社第25回評議員会の開催について

4 登記に関する事項

登記原因年月日	申 請 先	事 項	登記年月日
平成30年4月1日	宇都宮地方法務局	事業の名称変更に伴う定款の変更	平成30年4月5日
平成30年5月28日	宇都宮地方法務局	理事、監事の変更	平成30年6月11日
平成30年8月22日	宇都宮地方法務局	評議員、理事の変更	平成30年9月13日

5 栃木県知事への届出等に関する事項

届 出 等 年 月 日	事 項	備 考
平成30年6月25日	定期提出書類（事業報告等）	県経営技術課
平成30年9月14日	変更届（評議員、監事の変更）	県経営技術課
平成31年3月29日	定期提出書類（事業計画等）	県経営技術課

6 契約に関する事項

契約年月日	契約の相手方	契約の概要
平成30年4月1日	那須塩原市 農務畜産課	農用地利用集積事業、農業経営改善事業、農業経営基盤強化推進対策事業（機構集積協力金推進業務）、農業次世代人材投資資金推進事業、青年等就農計画認定審査業務、那須塩原市農村生活研究グループ協議会活動支援事業、認定農業者の会活動支援事業、農業者海外研修派遣事業、市民農園管理事業 ※青木ふるさと物産センター管理業務基本協定（3/26） ※青木ふるさと物産センター管理業務年度協定（3/30）
平成30年4月1日	那須塩原市 生涯学習課	とちぎ明治の森記念館業務委託契約
平成30年4月1日	那須塩原市 道路課	道の駅「明治の森・黒磯」維持管理業務委託契約
平成30年4月2日	(公財)栃木県 農業振興公社	特例事業業務委託契約、農地中間管理事業業務委託契約
平成31年3月1日	那須塩原市 農務畜産課	農業者海外研修派遣事業変更契約

7 評議員に関する事項（平成31年3月31日現在）

役職	氏名	就任年月日	備考
評議員	菊地秀俊	平成30年8月22日 就任	那須野農業協同組合代表理事組合長
評議員	君島良一	平成29年8月24日 就任	那須塩原市農業委員会会長
評議員	田代仁	平成24年10月1日 就任	黒磯土地改良区事務局長
評議員	久留生とも子	平成29年5月29日 就任	栃木県名誉農業士
評議員	松本良則	平成29年5月29日 就任	那須塩原市認定農業者の会会長

8 役員に関する事項（平成31年3月31日現在）

役職	氏名	就任年月日	備考
理事長	片桐計幸	平成29年1月1日 就任	那須塩原市副市長
常務理事	関谷正徳	平成29年5月29日 就任	(公財)那須塩原市農業公社事務局長
理事	高松英樹	平成30年5月28日 就任	前那須塩原市農業指導士会会長
理事	人見みゆ子	平成28年5月26日 就任	栃木県名誉農業士
理事	加藤拓央	平成29年8月24日 就任	那須塩原市農業委員会会長職務代理者
理事	蓮實宏行	平成29年5月29日 就任	那須野農業協同組合職員
理事	印南上策	平成30年5月28日 就任	那須野農業協同組合黒磯営農経済センター課長
理事	大平和広	平成25年5月27日 就任	酪農とちぎ農業協同組合那須高原支所長
監事	金田文男	平成30年8月22日 就任	那須野農業協同組合理事
監事	高久幸代	平成30年5月28日 就任	那須塩原市会計管理者

9 職員に関する事項（平成31年3月31日現在）

所 属 区 分		人 員	職 員 区 分				備 考
			市OB職員	農協派遣	公社職員	公社採用 臨時職員	
公 社 事 務 局	事務局長	1	1				
	係 長	2			2		
	係	6		2	2	2	
道 の 駅	所 長	(1)	(1)				事務局長兼務
	係	8				8	
計		17	1	2	4	10	

事業報告附属明細書

平成 30 年度事業報告においては、「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものはない。